

議案	付託委員会	本会議の議決	市政12	市フ7	公明5	共産3	生ネ1	元ク1
条例・予算								
専決処分の承認について		即決	可決					
専決処分の承認について		即決	可決					
議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例	総務		可決					
府中市基金条例の一部を改正する条例	総務		可決					
府中市市税条例の一部を改正する条例	総務		可決					
府中市営住宅条例の一部を改正する条例	厚生経済		可決					
府中市保健センター条例の一部を改正する条例	厚生経済		可決					
府中市立公園条例の一部を改正する条例	建設環境		可決					
物品の買入れについて	文教		可決					
物品の買入れについて	厚生経済		可決					
府中市市民会館中央図書館複合施設整備事業契約の変更について	厚生経済		可決			×	×	
平成 18 年度府中市下水道事業特別会計補正予算（第 1 号）	建設環境		可決					

フリーダムネット

No.21 2006.7

< 6 月議会報告 >

府中の子供の学力は？

	市立に入学した生徒	私立・国立に入学した生徒	私立・国立に入学した割合	40 人あたりの人数
13 年度	1692 人	218 人	11.4%	4.6 人
18 年度	1722 人	300 人	14.8%	5.9 人

(市教委のデータから)

私立中学校へ通う府中の子供の状況

民主党は、議会のインターネット放映を推進します！

インターネット動画配信を求める陳情について、市政会、公明党、元気クラブは賛成しませんでした。「議会内でも検討中だから」というのが理由ですが、議会内では棚上げされているのが実体です。ほとんど発言しない議員、居眠りする議員、原稿棒読みの議員など、議会の様子がオープンになっては困る人たちがいるのかもしれない。

< 暮らしはこう変わる >

地方税法の改正により個人住民税の構造が変わります。税率は 5%、10%、13% から一律 10% とフラット化されます。これによる増減分は、所得税の増減調整で相殺されるとのことですが、実際にどうなるか、注意が必要です。他に、定率減税の廃止なども行われます。

長い間市民に親しまれてきた、移動天文観測用車両「ペガサス」が排ガス規制により廃車となりました。秋から機能アップされた新車両が導入され、新しく生まれ変わります。

府中市議会議員・府中の元気

杉村康之



ご意見ご声援をよろしくお願いします！

事務所 府中市栄町 2-14-21-101
 TEL 042-335-0097 / FAX 042-361-9856
 Email sugimura@sea.sannet.ne.jp
 URL http://www.fuchu21.gn.to
 郵便振替 00150-1-102251(フリーダムネット)
 銀行口座 みずほ銀行府中支店 貯 4572242



府中の子供の学力は？

杉村 子供の学力低下についての議論がある。私立や国立の中学校へ通う子供の割合は、以前よりかなり増えているが、親たちの公立学校への不信、不安の表れだと思う。その一つの要素が学力不安。府中の子供たちの学力低下についてどう考えるか？

新海教育長 学力としては、従来の読み書き計算等の基礎学力のほか、学習への意欲、学ぶことへの興味・関心も重要。府中の子供たちについて、総合的に判断して、学力が低下しているという認識は持っていない。調査結果によれば、意欲や興味関心は、都の平均よりも高い。

杉村 私はデータをまだ見ていないので判断できないが、学力低下がないというならば、そのことをぜひ市民に伝えて不安を解消してほしい。客観的なデータに基づいて示すことができるか？

学校教育部長 都の学力調査は客観的なデータ。これを分析して、授業改善推進プランを作成し示すことは可能。また、学校経営報告や学校評価委員による診断などについて、ホームページ掲載も検討していく。

TT(チーム・ティーチング)指導の成果は？

杉村 TT指導はよい制度だが、担当教諭(T1)と指導補助員(T2)が相談する時間があまりないと聞く。授業で使われるプリントをその場で渡されたという例もある。もっと情報共有の場が必要ではないか？例えばT2の研修会にT1も一緒に参加することも必要ではないか？

学校教育部長 コミュニケーションがなかなか取れないという状況も把握している。情報共有の場は必要。校長や副校長を通して、情報交換できるように対応している。T1の研修参加については希望があれば受け入れ可能。

杉村 放課後や休み時間でも時間がとれないほど忙しい先生が、希望して研修に参加するとは考えられない。チーム・ティーチングなのだから、チームワークを発揮できるよう、もっとしっかりやって欲しい。次にTTの成果は？

学校教育部長 数値としてのデータはないが、子供や親から「質問しやすくなった」、「興味関心が高まった」との声がある。

杉村 もっと客観的にデータで把握できないか？また、関心・意欲も大事だが、知識の理解度という点からも成果を図る必要があるのでは？

学校教育部長 知識・理解も含めた様々な観点を設定して、全校のアンケート調査の実施を検討してまいりたい。

親たちの学力不安解消を

市教委で把握しているデータによれば、私立や国立の中学校へ通う府中市の子供の割合は、平成13年度は40人中4.6人、平成18年度は5.9人。私が子供のころはせいぜい1人、2人でした。私立志向が増えたのは、学力に対する不安が大きいと思います。

今回、教育長は「学力は低下していない」と明確に答えました。しかし、地元の保護者や学習塾、報道などの情報から考えて、学力の低下は否めない、と私は思います。その違いはどこからくるのか。

一つは、判断の基になるデータが違うからですが、現在は教育長の判断の基になったデータがオープンになっていません。親の不安を解消するには、データを示して、学力の状況を説明する必要があると思います。

また二つには、学力観の違いです。文科省の「新しい学力観」では、かつての偏差値偏重への反省から、学習への意欲や関心など測定できないものまで含めて「確かな学力」としています。これを根拠に市教委は、従来のようにテストの点数で学力を測ることはしたくないといっています。確かに意欲・関心は重要ですが、読み書き計算などの基礎学力(=知識の理解度)も重要です。その双方を客観的にはからなければ、学力の実体はつかめないと思います。



TTはチームワークで

クラスを2人で教えるTT指導はよい制度ですので私も支持をしています。しかし今回の質問で、肝心の担当教諭と指導補助員とのコミュニケーションがとれていないということが明らかになりました。その対策として市教委は、「校長を通じて」両者間の情報交換を促すと、担当教諭の「希望があれば」研修に受け入れるなどと言っています。これではとても解決につながると思えません。

担当教諭の時間を確保し、チームワークを発揮させる環境を積極的につくるこそ市教委の役割です。

「先生は忙しい」という声をよく耳にします。確かに今の先生は子供を教える以外にやらなければならないことが多いのですが、だからといって子供への対応がおろそかになっては本末転倒です。先生が本来の仕事に専念できる環境づくりこそ大切です。例えば、地域の見回りや部活の世話などを地域の方に組織的に協力してもらおうような、コミュニティスクールなども一つだと思います。

